

くにたち 市議会

No.460

令和8年 3月

令和8年 4月

令和8年 5月

国立市議会事務局

目 次

市議会日誌（３月・４月・５月）	2
議会の動き	4
会派代表者会議	4
議会運営委員会	4
令和８年国立市議会第１回定例会の付議事件と審議結果	5
広報委員会	9
社民・ネット・風 視察報告	10
議長会の動き	18
東京都市議会議長会 監事会	18
関東市議会議長会 監事会	18
東京都市議会議長会 臨時総会	19
関東市議会議長会 第２回理事会及び第 92 回定期総会	20
全国市議会議長会 第 102 回定期総会	21
東京都市議会議長会理事会及び定例総会	21
協議会の動き	23
三多摩上下水及び道路建設促進協議会 監事会	23
三多摩上下水及び道路建設促進協議会 正副会長・委員長会議	24
三多摩上下水及び道路建設促進協議会 理事会及び定例総会	25
東京都三多摩地区消防運営協議会 通常総会	26
資 料	27
令和８年２月分例月出納検査等結果報告書	27
令和８年３月分例月出納検査等結果報告書	31
令和８年４月分例月出納検査結果報告書	35
３月・４月・５月新着図書・資料の紹介	39

市 議 会 日 誌

3 月

2 日 (月) 午前	10:00	令和 8 年国立市議会第 1 回定例会本会議(4 日目)
3 日 (火) 午前	10:00	令和 8 年国立市議会第 1 回定例会本会議(5 日目)
4 日 (水) 午前	10:00	令和 8 年国立市議会第 1 回定例会本会議(6 日目)
5 日 (木) 午前	10:00	全員協議会
6 日 (金) 午前	10:00	予算特別委員会
9 日 (月) 午前	10:00	予算特別委員会
10 日 (火) 午前	10:00	予算特別委員会
11 日 (水) 午前	10:00	予算特別委員会
13 日 (金) 午前	10:00	総務文教委員会
16 日 (月) 午前	10:00	建設環境委員会
17 日 (火) 午前	10:00	福祉保険委員会
19 日 (木) 午前	10:00	議会運営委員会
24 日 (火) 午前	10:00	令和 8 年国立市議会第 1 回定例会最終本会議
25 日 (水) 午後	1:30	広報委員会
26 日 (木) 午前	10:00	国立市土地開発公社評議員会及び理事会が委員会室で開かれ、青木健議員、石井(伸)議員、高柳議員、大谷議員、古濱議員、中谷議員、青木(淳)議員、山口議員、矢部議員、石井(め)議員が出席

4 月

3 日 (金) 午後	1:55	東京都市議会議長会監事会が東京自治会館で開かれ、遠藤議長が出席
8 日 (水) 午後	1:56	三多摩上下水及び道路建設促進協議会監事会が国立市役所で開かれ、遠藤議長が出席
13 日 (月) 午後	2:30	関東市議会議長会監事会がホテルメトロポリタン高崎で開かれ、遠藤議長が出席
14 日 (火) 午前	10:00	広報委員会
15 日 (水) 午前	10:00	福岡県久留米市議会議員が行政視察に来庁
17 日 (金) 午後	1:31	議会運営委員会
21 日 (火) 午後	2:52	東京都市議会議長会臨時総会が東京自治会館で開かれ、遠藤議長が出席
23 日 (木)		関東市議会議長会第 2 回理事会及び第 92 回定期総会が G メッセ群馬で開かれ、遠藤議長が出席

5 月

11 日 (月)	午後	1:30	愛知県知立市議会議員が行政視察に来庁
12 日 (火)	午前	9:40	愛知県知多市議会議員が行政視察に来庁
	午後	2:00	三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長・委員長会議が国立市役所で開かれ、遠藤議長が出席
15 日 (金)	午前	10:00	福岡県筑後市議会議員が行政視察に来庁
18 日 (月)	午前	10:21	会派代表者会議
21 日 (木)	午前	10:00	国立市土地開発公社評議員会及び理事会が委員会室で開かれ、青木健議員、石井（伸）議員、高柳議員、大谷議員、古濱議員、中谷議員、青木（淳）議員、山口議員、矢部議員、石井（め）議員が出席
22 日 (金)	午後	2:00	多摩川衛生組合代表者会議が多摩川衛生組合で開かれ、青木健議員が出席
	午後	2:00	国立市議会議会運営委員会が八王子市役所を行政視察
25 日 (月)	午後	2:00	三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会及び第64回総会が府中の森芸術劇場で開かれ、遠藤議長、小川議員、矢部議員、大谷議員が出席
27 日 (水)	午後	1:00	全国市議会議長会第102回定期総会が東京国際フォーラムで開かれ、遠藤議長が出席
29 日 (金)	午前	10:30	東京都三多摩地区消防運営協議会通常総会が府中の森芸術劇場で開かれ、遠藤議長が出席
	午後	1:45	東京都市議会議長会理事会及び定例総会が東京自治会館で開かれ、遠藤議長が出席

議 会 の 動 き

会 派 代 表 者 会 議

1. 日 時 5月18日（月） 午前10時21分
2. 場 所 議会応接室
3. 議 題 (1) 令和8年度予算(議会費)の補正について
 (2) 本会議場説明員の席次について
 (3) 議員の期末手当について
 (4) 議員の防災服について

議 会 運 営 委 員 会

1. 日 時 3月19日（木） 午前10時00分
2. 場 所 委員会室
3. 議 題 (1) 最終本会議の議事運営について
 (2) 議長の諮問事項について
 (3) 懸案事項について
 (4) 議会基本条例の点検について

-
1. 日 時 4月17日（金） 午後1時31分
2. 場 所 委員会室
3. 議 題 (1) 議長の諮問事項について
 (2) 懸案事項について
 (3) 議会基本条例の点検について
-

令和 8 年第 1 回定例会の付議事件と審議結果

令和 8 年第 1 回定例会は、2 月 24 日(火)から 3 月 24 日(火)までの会期 29 日間で開かれ、その審議結果は次のとおりです。

議案 番号	件 名	委 員 会			本会議	
			審査月日	審査結果	議決月日	議決結果
3	市道路線の廃止について	建環	3 月 16 日	原案可決	3 月 24 日	原案可決
4	市道路線の認定について	〃	〃	〃	〃	〃
5	旧本田家住宅等復原工事請負変更契約の締結について	総文	3 月 13 日	〃	〃	〃
6	国立市特定乳児等通園支援事業の運営の基準に関する条例案	福保	3 月 17 日	〃	〃	〃
7	国立市議会議員及び国立市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	総文	3 月 13 日	〃	〃	〃
8	国立市行政手続条例の一部を改正する条例案	〃	〃	〃	〃	〃
9	国立市国民健康保険出産費資金貸付基金条例を廃止する条例案	福保	3 月 17 日	〃	〃	〃
10	国立市国民健康保険高額療養費資金貸付基金条例を廃止する条例案	〃	〃	〃	〃	〃
11	国立市こどもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	〃	〃	〃	〃	〃
12	国立市介護保険条例の一部を改正する条例案	〃	〃	〃	〃	〃
13	国立市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	〃	〃	〃	〃	〃
14	国立市空家等対策審議会条例の一部を改正する条例案	建環	3 月 16 日	〃	〃	〃
15	東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について	—	—	—	2 月 24 日	〃
16	令和 7 年度国立市一般会計補正予算（第 10 号）案	総文	3 月 13 日	原案可決	3 月 24 日	〃
		建環	3 月 16 日	〃	〃	〃
		福保	3 月 17 日	〃	〃	〃
17	令和 7 年度国立市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）案	福保	3 月 17 日	〃	〃	〃
18	令和 7 年度国立市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）案	〃	〃	〃	〃	〃
19	令和 7 年度国立市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）案	〃	〃	〃	〃	〃

議案 番号	件 名	委 員 会			本会議	
		審査月日		審査結果	議決月日	議決結果
2 0	令和 7 年度国立市下水道事業会計補正予算（第 2 号）案	建環	3 月 16 日	原案可決	3 月 24 日	原案可決
2 1	令和 8 年度国立市一般会計予算案	予特	3 月 10 日	〃	〃	〃
2 2	令和 8 年度国立市国民健康保険特別会計予算案	〃	3 月 11 日	〃	〃	〃
2 3	令和 8 年度国立市介護保険特別会計予算案	〃	〃	〃	〃	〃
2 4	令和 8 年度国立市後期高齢者医療特別会計予算案	〃	〃	〃	〃	〃
2 5	令和 8 年度国立市下水道事業会計予算案	〃	〃	〃	〃	〃
2 6	国立市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	総文	3 月 13 日	〃	〃	〃
2 7	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	〃	〃	〃	〃	〃
2 8	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	〃	〃	〃	〃	〃
2 9	国立市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	福保	3 月 17 日	〃	〃	〃
3 0	令和 7 年度国立市一般会計補正予算（第 11 号）案	—	—	—	〃	〃
3 1	令和 8 年度国立市一般会計補正予算（第 1 号）案	—	—	—	〃	〃
3 2	国立市教育委員会委員の任命に伴う同意について	—	—	—	〃	同 意
3 3	国立市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	—	—	—	〃	〃
3 4	国立市総合オンブズマン委嘱の同意について	—	—	—	〃	〃
3 5	国立市総合オンブズマン委嘱の同意について	—	—	—	〃	〃
3 6	国立市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	—	—	〃	〃
陳 1	新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	総文	3 月 13 日	不 採 択	〃	不採択
陳 2	国是である非核三原則の堅持を求める事に関する意見書の提出を国に求める事に関する陳情	〃	〃	〃	〃	〃

議案 番号	件 名	委 員 会			本会議	
		審査月日		審査結果	議決月日	議決結果
陳 3	オンブズマンせい度の合意形成を ていてほしいに関する陳情	総文	3 月 13 日	不 採 択	3 月 24 日	不 採 択

1. 人事案件について

(1) 国立市教育委員会委員の任命に伴う同意について

無記名投票の結果、同意と決定した。(大 山 紀 子)

投票用紙配付枚数	2 0 枚
投票総数	2 0 票
同意	1 7 票
不同意	3 票 (うち白票 2 票)

(2) 国立市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について

無記名投票の結果、同意と決定した。(中 田 文 央)

投票用紙配付枚数	2 0 枚
投票総数	2 0 票
同意	2 0 票
不同意	0 票

(3) 国立市総合オンブズマン委嘱の同意について

無記名投票の結果、同意と決定した。(片 山 弘 道)

投票用紙配付枚数	2 0 枚
投票総数	2 0 票
同意	2 0 票
不同意	0 票

(4) 国立市総合オンブズマン委嘱の同意について

無記名投票の結果、同意と決定した。(辻 本 愛 子)

投票用紙配付枚数	2 0 枚
投票総数	2 0 票
同意	2 0 票
不同意	0 票

(5) 国立市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

無記名投票の結果、同意と決定した。(猪 熊 緑)

投票用紙配付枚数	2 0 枚
投票総数	2 0 票
同意	1 8 票
不同意	2 票 (うち白票 2 票)

2. その他

(1) 予算特別委員会の設置及び正副委員長を選任について

2 月 2 4 日 (火) の本会議において、令和 8 年度国立市一般会計外 4 件の予算案が一括上程され、副市長から提案説明を受けた。その後、議長を除いて構成する予算特別委員会を設

置し、これに付託した。

また、議長において委員長に関口博議員、副委員長に高柳貴美代議員を指名し、本会議に諮り、選任した。

(2) 発言の取消しについて

3月24日(火)の本会議において、上村和子議員より口頭で、3月2日(火)の本会議の発言について、一部発言取消しの申出があり、議長がこれを3月24日(火)の本会議に諮り、異議なく許可した。

(3) 発言取消しの留保について

3月24日(火)の本会議において、上村和子議員の委員長報告中の発言について、会議録を調査の上不穏当発言があった場合には善処する旨を、議長が宣告した。

○各常任委員会での報告事項

(1) 総務文教委員会

- ・ 国立市行財政改革プラン 2029(案)について

(2) 建設環境委員会

- ・ 国立市行財政改革プラン 2029(案)について

(3) 福祉保険委員会

- ・ 国立市行財政改革プラン 2029(案)について
- ・ 第3次国立市健康増進計画(案)について
- ・ 国立市保育審議会答申について

広 報 委 員 会

1. 日 時 3月25日(水) 午後1時30分
2. 場 所 委員会室
3. 議 題 (1) くにたち市議会だよりNo279号の編集確認について

-
1. 日 時 4月14日(火) 午前10時00分
2. 場 所 委員会室
3. 議 題 (1) くにたち市議会だよりNo279号の初校確認について

社民・ネット・風 視察報告

日 時 2026 年 3 月 30 日(月)
場 所 京都 JA ビル
主 催 廣瀬行政研究所
参加者 藤田貴裕
内 容 自治体財務分析入門―財政状況を見抜く分析力を身に付ける―
1. 自治体財務分析の基礎
2. 地方公会計を活用した財務分析
3. 財務分析のワークショップ

1. 研修の目的

地方公会計制度が導入され、財政の見える化、未来の負担が現時点でどれくらいあるか明らかにする公会計制度が始まっている。従前の官庁会計（現金主義）では把握できないものから、把握するものとして発生主義の資料作成がなされている。

より理解を深めるため、研修を受けることにした。

2. 講 師 横田 慎一氏

公認会計士、税理士、商学博士。監査委員、不正調査委員、入札監視委員など公職歴多数。

3. 研修の内容

① 貸借対照表の見方

現役世代の負担と、将来世代の負担がどうなっているのか見るシート。
資産合計のうち、現役世代が負担した純資産合計と、将来世代の負担となる負債合計を見る。

一般的には、自治体が保有している資産がどのような手段で資金を調達したかを示す。

② 行政コスト計算書

使用料などの対価性のある歳入と行政サービスのコストの関係を示す。

純行政コストの金額を作成し、純資産変動計算書作成のために必要。

③ 純資産変動計算書

純行政コストの金額に対し、税収、国都補助金をどれだけ受け入れているかわかるシート。

本年度差額を見る。マイナスであれば将来世代の利用可能な資源を現役世代が消費している。

プラスであれば、将来世代も利用可能な状態。

④ 資金収支計算書

現金等の収支の流れを分析するシート。現金預金残高も示す。

業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支を見る。

業務活動収支は黒字でなければならないが、投資活動収支はインフラや公共施設建設など行政投資を行うと赤字になる。財務活動収支は、地方債の償還が起債より多いと赤字になるため、ここの赤字は悪いとは一概には言えない。

4. 研修のまとめ

講師の説明によると、4指標の内容をすべて理解していなくても、要点を理解していれば良いとのことであった。講師が英国へ視察に行った際、面会した政治家から、政治家は会計士ではないので、全部は理解していないが、ポイントを見ていると聞いたことが紹介された。

ただ、講師によると、そのポイントは、問題点を示唆する数字であり、具体的にどの事業に問題があるかは示していないと指摘があった。

例えば、純資産変動計算書で本年度差額が赤字でも、それが手数料・使用料を取っている事業のうち、駐輪場が赤字なのか、保育園が赤字なのか、学童保育所が赤字なのか、このシートだけでは判断できないとのことであった。

また、財務分析の数字だけ決算資料にしても意味がなく、その指標が何を示唆しているのか簡潔な説明がなければ行財政改革までつながらないと指摘があった。

5. 所 感

現金主義ではわからない財務状況を数字で明らかにする公会計制度は意義があることだと感じる。行政サービスにどれくらいのコストがかかっていて、受益者負担額が適正なのか判断できることは自治体経営では重要なことである。しかし、シートを見ただけでは問題の示唆にとどまり、個別事業の精査が必要なことが理解できた。

そうすると、国立市では行政評価システムを使いコストの計算をしており、使用料・手数料の妥当性について把握している。従前の官庁会計とそれを補完するシステムについて知識がなければ、公会計を会計士の視点で見ても市の財政改革をできないことが分かった。

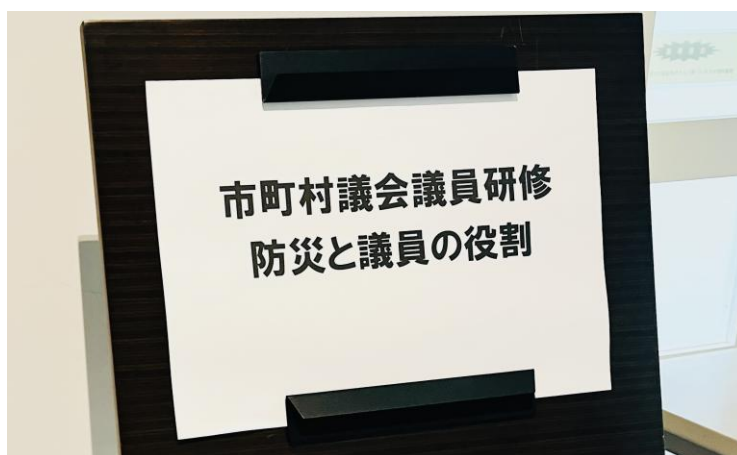
一方で、子ども医療費や給食費など、無償化が行われている。行政コストを計算してあるべき受益者負担の額が分かっても政策的に無償化されるものと、利用者負担が発生しているものと分けられる。

この矛盾に悩みながら持続可能な財政を追求していかなければならないことを学んだ、意義深い研修であった。

日 時 2026 年 4 月 22 日～24 日
場 所 全国市町村国際文化研修所
主 催 公益財団法人 全国市町村研修財団
参加者 古濱 薫
内 容 防災と議員の役割

1 研修概要

能登半島地震や東日本大震災など近年の大規模災害を踏まえ、被災自治体の実践や研究者による講義を通して、地方議会および議員、行政に求められる役割について学びました。防災については危機管理的な課題として捉えがちでしたが、防災は福祉、教育、地域コミュニティ、住宅政策、議会運営など自治体行政全体に関わるテーマであり、平時の地域づくりそのものが防災力につながることを改めて認識しました。



2 講義内容と学び

(1) 過去の災害の教訓をこれからの活かす

講師：福井大学 酒井明子氏

「水は人の尊厳、kintone 活用、地域コミュニティと医療的ケア児」

酒井氏からは能登半島地震や福井豪雨など現場で起きた具体的な事例紹介があり、最も重たく響いたのは「人の尊厳が最も削られたのは断水である」ということです。断水は高齢者や障害者の健康状態を悪化させ、災害関連死の背景には、医療や介護との連携不足、孤立、避難生活の長期化など複数の要因が存在するとのことでした。

また、珠洲市では膨大な外部支援者が入った一方で、支援の主体はあくまで地域住民であり、地域の実情を知らない支援はかえって混乱を招くこともあり、平時からの地域コミュニティ形成が重要だと言われました。医療的ケア児やしょうがい者が実際に停電や断水を想定して宿泊訓練を行うことで、家族が「どの段階で避難するのか」を具体的に判断できるようになったといいます。

珠洲市行政では kintone を導入し市長判断で全住民情報を読み込ませ、公費解体制度など相談対応を現場から直接入力できるようにし、刻々と変わる被災状況の共有に大いに役立ったとのこと、自治体の ICT 活用の好事例ではないでしょうか。

私は普段からしょうがいのある子どもや学校に行きづらい子どもの支援について取り組んでいます。災害時には、こうした子どもたちや家族が真っ先に困難に直面することを改めて実感しました。国立市でも当事者や家族が実際に参加する避難訓練は行われていますが、しょうがい当事者以外の方も含めて、誰もが地域と顔の見える関係にあることが重要だと思いました。

（２）発災時の議員および議会としての取り組み

講師：石川県輪島市議会議員 大宮正氏

「議員の役割は住民と行政とのつなぎ役、事業者や住民のボランティアといった助け合い」

はじめに大宮議長より全国から受けた復興支援に対する丁寧な謝辞があり、能登半島地震発災直後から現在に至るまで当事者としての経験が語られました。

避難所の混乱、通信断絶、道路寸断、孤立集落の発生など、想像を超える状況の中で、誰ともなく自宅のストーブを持ち寄ったり、元旦のお節料理などを分け合ったりと、地域住民同士の助け合いが命を支えたそうです。議長（当時は副議長）は普段から地元消防団や地域とのつながりがあったため対応できたことから、議員としての役割は地域の決断や選択を市長に伝え許可を得ることだったといいます。

～集団避難に至り無人化した集落で国の緊急修理制度を住人に代わりまとめて申請、ブルーシート張り、防犯の見廻りなど行った、7月に水道復旧するまで水の運搬もあり体力の限界、9月の能登豪雨が追い討ちをかけたが、解体業者の方々が無償で土砂を取り除いてくれ本当にありがたかった～

厳しい状況下でも住民自らイベントを企画したり、建設業者の方々が自前で宿泊所を建設、被害を受けた田畑でのヒマワリ栽培、子どもたちのためにボランティアによる公園の設置など、人々が豊かに生きたいと行う取り組みも語られ希望を感じましたが、市役所職員は100人以上離職、更に道路を広げたりといったインフラ整備の必要性、災害復興住宅があってもほとんどの人は仮設住宅でいる状況、就労問題など課題は継続しています。

議員は住民と行政のつなぎ役であり住民の声を行政に届けると共に、市ができないことも住民に伝える役割も担うという話には、対立ではなく相互理解しながら協力していくために、日頃から議員としても地域住民としても地域でつながって関係を築いておくことが重要であると感じました。

（３）平時からの地震防災と防災庁設置に向けた動き

講師：名古屋大学名誉教授 福和伸夫氏

「建築基準法、災害歴史の教育、都市の過密さを解消する広域連携、空き家活用」

福和氏からは東京は被害想定を「大丈夫」の上に成り立たせている、「災害歴史を教えてこなかった」「建築基準法は最低限のことしか定めていない」と指摘がありました。弱い土地を避け、建築基準を大きな地震にも耐えうるよう見直し、揺れに弱い柱ではなく壁の多い構造にするなど、「地震があっても壊れない」＝「命が守られ暮らし続けられる」建物であればそもそも被害は最小限に抑えられると語られました。また「命を守る」だけでなく「命をつなぐ」防災への転換が必要だということです。住宅耐震化、危険地域からの移転、人口や機能の過度な集中の解消など、災害が起きる前の対策の重要性が繰り返し語られました。

歴史教育と防災教育は別々ではなく、子どもたちが地域の歴史や災害の記憶を学ぶことは、防災力を高めるだけでなく地域への愛着にもつながります。現役世代の人口減少でどこも人手不足が起きていますが、公務員削減の流れで果たして災害時に十分な対応ができるかは疑問です。各自治体だけでなく広域で考えていく必要性があります。また空き家を発災後の仮のテレワーク場として備えたり、大きな工場を持つ企業との官民連携など具体的な政策提案もあり、我が市においてできることを考えたいと思います。

（４）郡山市議会の BCP（業務継続計画）について

講師：郡山市議会事務局 赤沼研志氏

「災害時の議会開催、意見の集約の仕組みづくり、議会 BCP」

東日本大震災当時の郡山市議会の対応と、その後の議会 BCP 策定について。発災直後は議員の安否確認も困難であったが、当局からの報告のみ、質疑は無し、など最低限必要な議決を行いながら議会機能を維持したそうです。その経験を踏まえ、議員から寄せられる地域情報を議会事務局が集約して行政へ届ける仕組みを整備、BCP に入れ込みました。

災害時に議会をどう開くのか、オンライン活用をどう考えるのか、議員はどのように行動するのかなど、改めて確認や検討が必要だと感じました。

（５）近年の大災害と自治体の重要な防災対策

講師：跡見学園女子大学教授 鍵屋一氏

「普段の行動が防災、主体的な防災教育、なまはげ台帳＝要支援者名簿である」

鍵屋氏は一貫して「福祉防災」の重要性を語りました。住宅耐震化と高齢者支援を最重要課題と位置づけ、しょうがい者や高齢者など災害弱者を中心に据えた防災が必要であるとのことでした。また、個別避難計画は書類を作ることが目的ではなく、地域で話し合い、誰がどのように支援するのかを考える過程そのものが地域づくりであり、防災力向上につながるというのは大変重要な考え方だと思いました。

防災教育について「釜石の奇跡」が紹介されました。子どもたちが避難経路を歩き、これでは時間がかかりすぎると自ら考え主体的に変更を検討した結果が多く命を救ったのであり、全く奇跡ではないことが分かりました。また「（各世帯を廻る）秋田のなまはげはボランティアの要配慮者名簿である」という視点は斬新うがいのある子ども、医療的ケア児な災計画が必要だと感じました。



3 ワールドカフェ・意見交換

（１）災害時に行政が行うべきこと

「日頃から顔の見える関係づくり、議会 BCP 策定、住民の声の集約方法」

災害発災直後の状況を記録したエスノグラフィーを活用し、参加した議員で3～4名のグループを作りワールドカフェ形式の実習を行いました。対話のグラウンドルール（相手の話を否定しない、割り込まない、パスしてもいい、など）を守りながら講義の感想をシェアし、テーマを「災害時における議員の役割」としワールドカフェを行いました。災害対策の主体はあくまで行政・職員であり、我々議員はその対応を阻害せず、議員だからこそできることを行うべきとなりました。日頃から顔の見える関係づくりのために地域に入っていくこと、防災を意識せずとも知り合

えて地域が好きになる「避難さんぽ」の実施など、多くのアイデアが出されました。すぐに研修所事務局がまとめたプリントが配布され、参加者（約 60 名）の意見が共有できたことに感謝します。

（２）防災における議員の役割

「職員のケア、避難所のキーパーソン、無理をせず国や県を頼ろう」

メンバーをシャッフルしテーマを「第災害時に行政が効果的な対応をするために・・・平時にすべきこと」を出し合いました。テーブルを廻りいいなと思ったアイデアにシールを貼り、各班のシール数が発表され、評価し合い、多くのアイデアが共有されました。中には自身の運営する事業所を、しょうがいのある子どもたちの一時避難所として自治体と連携協定している議員もいることを聞きました。離れた地域で背景の違う議員と知り合い、対話することは大変有意義で、この JIAM 研修の醍醐味であると言えます。

5 おわりに

災害時だけ助け合う地域をつくることはできません。平時から人と人がゆるく繋がって、いざという時には他者の顔が思い浮かぶような関係づくりができていることが重要です。

講師の皆さんの深い知見にはうなずくばかりでしたが、思い出すのも辛いであろう被災の経験を語ってくださった輪島市議会議員の大宮正氏、郡山市議会事務局の赤沼研志両氏には感謝の念が絶えません。今後も市民の命と暮らしを守り、高齢者も女性も、子どもやしょうがいのある方、生きづらさを感じている方々など誰一人取りこぼさない視点から、人と人を繋ぐ存在として常に地域で生きると同時に議員として政策提案につなげていきたいと思えます。



●全国から集まった議員たちとワールドカフェ

議 長 会 の 動 き

東京都市議会議長会 監事会

日 時 令和8年4月3日（金） 午後1時55分

場 所 東京自治会館 仮本館2階 第5会議室

1. 決算監査

令和7年度東京都市議会議長会歳入歳出決算について、会長市事務局長から概要説明後、会計帳簿及び預金通帳並びにその他関係書類の監査を行った。

2. 監事講評

監事(青梅市山崎議長、国立市遠藤議長)より、関係書類と照合した結果、予算に基づいて執行され、計数に誤りは認められなく、適正に執行されていたことが口頭で伝えられ、監事によって監査報告書に署名・押印が行われた。

3. その他

令和8年4月21日開催の臨時総会は、監事を代表して、青梅市の山崎議長が監査報告を行うこととなった。

関東市議会議長会 監事会

日 時 令和8年4月13日（月） 午後2時30分

場 所 ホテルメトロポリタン高崎 6階 おしどり

1. 協議事項

令和7年度関東市議会議長会歳入歳出決算について、関係書類の説明後、原案のとおり承認された。その後監事である国立市の遠藤議長から、計数及び事務処理は適正である旨の報告後、監査報告書に署名・押印された。

2. その他

国立市の遠藤議長から会計の手法について、今後市民目線での説明ができるようにとの発言があった。

東京都市議会議長会 臨時総会

日 時 令和8年4月21日（火） 午後2時52分

場 所 東京自治会館 仮本館2階 大会議室

1. 報告事項

- | | |
|--|-------|
| (1) 会務報告 | 【了 承】 |
| (2) 全国市議会議長会第185回建設運輸委員会の会議結果について | 【了 承】 |
| (3) 全国市議会議長会第185回社会文教委員会の会議結果について | 【了 承】 |
| (4) 全国市議会議長会第173回地方行政委員会の会議結果について | 【了 承】 |
| (5) 全国市議会議長会第185回産業経済委員会の会議結果について | 【了 承】 |
| (6) 東京都区市町村振興協会令和7年度第3回臨時評議員会の
会議結果について | 【了 承】 |
| (7) 関東市議会議長会支部長会議の会議結果について | 【了 承】 |

2. 協議事項

- | | |
|---------------------------------|-------|
| (1) 令和7年度東京都市議会議長会歳入歳出決算の認定について | 【承 認】 |
|---------------------------------|-------|

3. その他

- (1) 参考資料について
 - (ア) 東京都市議会議長会会員及び副議長・事務局長名簿
 - (イ) 令和8年度東京都市議会議長会関係役員
 - (ウ) 令和8年度東京都市議会議長会事業計画
 - (エ) 令和8年度東京都市議会議長会歳入歳出予算
 - (オ) 令和8年度東京都市議会議長会事業日程
 - (カ) 東京都市議会議長会会則・諸規程

(2) その他

会長市より、令和7年11月21日の定例総会において可決した各市提出議案「東京都職員OB及び東京都関係団体職員OBを対象とした民生・児童委員及び保護司候補者登録紹介制度の創設に関する要望書」を正副会長が東京都知事に提出した旨の報告があった。

全国市議会議長会 第 102 回定期総会

日 時 令和 8 年 5 月 27 日（水） 午後 1 時 00 分

場 所 東京国際フォーラム ホール A

1. 報 告

- | | |
|---|-------|
| (1) 一般事務及び会計並びにその他の報告 | 【承 認】 |
| (2) 地方行政委員会 | 【承 認】 |
| (3) 地方財政委員会 | 【承 認】 |
| (4) 社会文教委員会 | 【承 認】 |
| (5) 産業経済委員会 | 【承 認】 |
| (6) 建設運輸委員会 | 【承 認】 |
| (7) 国会对策委員会 | 【承 認】 |
| (8) 国と地方の協議の場等に関する特別委員会 | 【承 認】 |
| (9) 令和 7 年度「大規模地震に備えた防災まちづくりの推進に関する特別委員会」 | 【承 認】 |

2. 議案審議

- | | |
|------------|-------|
| (1) 部会提出議案 | 【決 定】 |
| (2) 会長提出議案 | 【決 定】 |

3. 役員改選

- | | |
|--------------------------------|-------|
| (1) 部会長・理事・評議員・各委員会委員選任及び相談役委嘱 | 【決 定】 |
|--------------------------------|-------|

東京都市議会議長会 理事会及び定例総会

理事会

日 時 令和 8 年 5 月 29 日（金） 午後 1 時 45 分

場 所 東京自治会館 仮本館 2 階 第 7 会議室

1. 報告事項

- | | |
|---------------------------------|-------|
| (1) 会務報告 | 【了 承】 |
| (2) 関東市議会議長会第 2 回理事会の会議結果について | 【了 承】 |
| (3) 関東市議会議長会新支部長会議の会議結果について | 【了 承】 |
| (4) 全国市議会議長会部会長の補欠選任について | 【了 承】 |
| (5) 第 253 回東京都都市計画審議会の会議結果について | 【了 承】 |
| (6) 全国市議会議長会第 244 回理事会の会議結果について | 【了 承】 |

2. 協議事項

- | | |
|------------------------------|--------|
| (1) 各市提出議案について | 【案件なし】 |
| (2) 東京都市議会議長会 5 月定例総会の運営について | 【承認】 |
| (3) その他 | 【特になし】 |

3. その他

- | | |
|------------------------------|--------|
| (1) 令和 8 年度東京都市議会議長会研修計画について | |
| (2) 令和 8 年度東京都市議会議長会事業計画について | |
| (3) 令和 8 年度東京都市議会議長会関係役員について | |
| (4) 東京都市議会議長会会員及び副議長・事務局長類簿 | |
| (5) その他 | 【特になし】 |

定期総会

日 時 令和 8 年 5 月 29 日（金） 午後 2 時 25 分
場 所 東京自治会館 2 階 大会議室

1. 報告事項

- | | |
|---------------------------------|------|
| (1) 会務報告 | 【了承】 |
| (2) 関東市議会議長会第 2 回理事会の会議結果について | 【了承】 |
| (3) 関東市議会議長会新支部長会議の会議結果について | 【了承】 |
| (4) 全国市議会議長会部会長の補欠選任について | 【了承】 |
| (5) 第 253 回東京都市計画審議会の会議結果について | 【了承】 |
| (6) 全国市議会議長会第 244 回理事会の会議結果について | 【了承】 |

2. 協議事項

- | | |
|----------------|--------|
| (1) 各市提出議案について | 【案件なし】 |
| (2) その他 | 【特になし】 |

3. その他

- | | |
|------------------------------|--------|
| (1) 令和 8 年度東京都市議会議長会研修計画について | |
| (2) 令和 8 年度東京都市議会議長会事業計画について | |
| (3) 令和 8 年度東京都市議会議長会関係役員について | |
| (4) 東京都市議会議長会会員及び副議長・事務局長類簿 | |
| (5) その他 | 【特になし】 |

協 議 会 の 動 き

三多摩上下水及び道路建設促進協議会 監事会

日 時 令和8年4月8日（水） 午後1時56分

場 所 国立市役所 委員会室

1. 決算監査

令和7年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出決算について、配付資料に基づき、会長市事務局長から説明後、国分寺市尾沢議長が関係書類の監査を実施した。

なお、当日欠席された監事の奥多摩町澤本議長には、事務局より関係書類のデーター式を送付し、事前に監査をした。

2. 監事講評

2名の監事(国分寺市尾沢議長、奥多摩町澤本議長)より、適正に執行されている旨の講評があり、監査報告書への署名・押印が行われた。

3. その他 な し

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

正副会長・委員長会議

日 時 令和8年5月12日（火） 午後1時49分

場 所 国立市役所 委員会室

1. 会務報告 【了 承】

2. 協議事項

(1) 令和7年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出決算の認定について

【了 承】

(2) 令和8年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出予算（案）について

【了 承】

(3) 役員の選任について

【了 承】

(4) 総会決議（案）について

【了 承】

(5) 理事会の開催について

【了 承】

(6) 第64回総会の開催について

【了 承】

(7) その他

会長市より、東京自治会館で使用していた総会用釣り看板に係るアンケート結果について報告し、全自治体から「廃棄」の合意を得たため、会長市に廃棄処分を行うことが了承された。

3. その他

(1) 参考資料

(ア) 令和7年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会役員・委員名簿

(イ) 三多摩上下水及び道路建設促進協議会規約

(2) その他

【 特になし 】

三多摩上下水及び道路建設促進協議会 理事会及び定例総会

理事会

日 時 令和8年5月25日（月） 午後2時00分
場 所 府中の森芸術劇場2階 平成の間

- | | |
|--|------|
| 1. 会務報告 | 【承認】 |
| 2. 協議事項 | |
| （1）令和7年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出決算の認定について | 【認定】 |
| （2）令和8年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出予算（案）について | 【決定】 |
| （3）役員の選任について | 【承認】 |
| （4）総会決議（案）について | 【承認】 |
| （5）第64回総会の開催について | 【承認】 |
| （6）その他 | |

総会

日 時 令和8年5月25日（月） 午後3時00分
場 所 府中の森芸術劇場2階 平成の間

- | | |
|--|------|
| 1. 会務報告 | 【承認】 |
| 2. 委員会報告 | |
| ①第1委員会報告 | 【承認】 |
| ②第2委員会報告 | 【承認】 |
| ③第3委員会報告 | 【承認】 |
| 3. 協議事項 | |
| （1）令和7年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出決算の認定について | 【認定】 |
| （2）令和8年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出予算（案）について | 【決定】 |
| （3）役員の選任について | 【決定】 |
| （4）総会決議（案）について | 【可決】 |

東京都三多摩地区消防運営協議会 通常総会

日 時 令和8年5月29日（金） 午前11時00分

場 所 府中の森芸術劇場2階 平成の間

1. 議 題

- | | | |
|---|----|----|
| (1) 令和7年度東京都三多摩地区消防運営協議会経過報告について | 【承 | 認】 |
| (2) 令和7年度東京都三多摩地区消防運営協議会歳入歳出決算について | 【承 | 認】 |
| (3) 令和8年度東京都三多摩地区消防運営協議会歳入歳出予算（案）
について | 【承 | 認】 |

2. 報告事項

令和8年度東京消防庁主要事業について

令和 8 年 2 月分例月出納検査等結果報告書

1 例月出納検査

(1) 種 類

地方自治法第 235 条の 2 の規定による検査

(2) 概 要

① 実施期間

ア 事前調査

令和 8 年 3 月 2 日（月）から令和 8 年 3 月 16 日（月）まで

イ 実 施

令和 8 年 3 月 23 日（月）

② 対象部局

会計管理者及び会計課、都市整備部下水道課

(3) 対象事項及び範囲

① 対象事項

令和 8 年 2 月分

ア 歳計現金現在高報告書

イ 一般会計及び特別会計歳入歳出計算書

ウ 収支日計表（各会計分累計額）

エ 資金前渡精算整理表

オ 下水道事業会計（銀行預金別資金残高表、現預金出納簿、月次合計 残高試算表、資金予算表、予算執行状況表）

② 対象範囲

令和 8 年 2 月分

ア 会計管理者の権限のうち現金の出納

イ 一般会計、各特別会計、各基金

ウ 歳入歳出外現金

エ 下水道事業会計

(4) 手続き

① 実 施 通 知 令和 8 年 3 月 2 日（月）

② 資料提出期限 令和 8 年 3 月 11 日（水）

③ 事 前 調 査 事務局による調査（前記のとおり）

④ 実 施 監査委員による検査（前記のとおり）

⑤ 帳簿の突合

(5) 結 果

① 概 評

令和 8 年 2 月分の一般会計、各特別会計、歳入歳出外現金及び各基金並びに
下水道事業会計に係る現金の出納状況について、国立市監査基準に則り、先に

提出された資料に基づき、出納簿、預金通帳、その他の諸帳簿を照合した結果は、次のとおりである。

ア 計数の正否

検査の結果、計数上の誤りは認められなかった。

イ 現金出納の状況

令和8年2月分

会 計 名	受入高（円）	払出高（円）	残高累計（円）
一般会計	1,876,885,454	2,632,901,854	△ 1,880,771,933
国民健康保険特別会計	537,457,846	734,654,761	△ 62,985,956
介護保険特別会計	360,899,540	561,263,331	106,058,732
後期高齢者医療特別会計	91,745,900	248,332,283	△ 4,382,561
小 計	2,866,988,740	4,177,152,229	△ 1,842,081,718
繰替運用	1,826,000,000	0	1,826,000,000
繰替使用	△ 150,000,000	0	490,000,000
合 計	4,542,988,740	4,177,152,229	473,918,282
歳入歳出外現金	537,177,157	485,174,856	130,729,463

※歳入歳出外現金の残高累計には、令和6年度からの繰越分が含まれています。

ウ 予算に対する収入済額、収入率及び支出済額、執行率

令和8年2月分

会 計 名	予算現額(円)	収入済額（円）	収入率（％）	予算現額(円)	支出済額（円）	執行率（％）
一般会計	42,165,002,831	27,452,523,708	65.11	42,165,002,831	29,333,295,641	69.57
国民健康保険特別会計	7,290,254,000	5,945,837,537	81.56	7,290,254,000	6,008,823,493	82.42
介護保険特別会計	6,972,655,000	5,796,225,496	83.13	6,972,655,000	5,690,166,764	81.61
後期高齢者医療特別会計	2,240,718,000	1,860,279,105	83.02	2,240,718,000	1,864,661,666	83.22
計	58,668,629,831	41,054,865,846	69.98	58,668,629,831	42,896,947,564	73.12

エ 下水道事業会計現金出納状況

令和8年2月分

	受 入 高（円）	払 出 高（円）	差引残高（円）
前 月 末 累 計	2,794,456,084	2,674,551,407	119,904,677
当 月 分	285,890,721	72,624,020	213,266,701
累 計	3,080,346,805	2,747,175,427	333,171,378

② 個別事項

ア 指摘事項 なし

イ 要望事項 なし

2 随時監査

(1) 種 類

地方自治法第 199 条第 1 項及び第 5 項の規定による監査

(2) 概 要

① 実施期間

ア 事前調査

令和 8 年 3 月 2 日 (月) から令和 8 年 3 月 16 日 (月) まで

イ 実 施

令和 8 年 3 月 23 日 (月)

② 対象部局

子ども家庭部子育て支援課

(3) 対象事項及び範囲

① 対象事項

令和 7 年度国立市一般会計 (歳出)

国立駅南口子育て・子育て応援テラス指定管理料 (2 月 2 日支払分)

予算科目 03.02.01.12(20)

支出額 32,935,250 円

② 対象範囲

ア 財務に関する事務の執行等

イ 一般行政事務の執行及び事務事業の経済性、合理性、正確性等

(4) 手続き

① 実 施 通 知 令和 8 年 3 月 2 日 (月)

② 資料提出期限 令和 8 年 3 月 10 日 (火)

③ 事 前 調 査 事務局による調査 (前記のとおり)

④ 実 施 監査委員による監査 (前記のとおり)

国立市監査基準に則り、先に提出された資料に基づき、監査対象部局より対象事項の概要説明を受け、その後、質疑及び関係書類の監査を実施した。

(5) 監査の着眼点

① 共通事項

ア 予算の執行は、計画的かつ効率的に行われているか。

イ 予算の執行の手続きは、適正か。

ウ 決裁は、定められた手続きを経ているか。

② 個別事項

ア 委託の相手方及び選定方法は、適切か。

イ 委託料の算定根拠は、合理的な基準に基づき行われているか。

ウ 委託内容の履行確認は、適正に行われているか。

また、履行期限は守られているか。

エ 委託料の支出は、適正な時期に行われているか。

(6) 結 果

① 概 評

対象事項を監査した結果、概ね良好であった。

② 個別事項

ア 指摘事項 なし

イ 要望事項 なし

以 上

令和 8 年 3 月分例月出納検査等結果報告書

1 例月出納検査

(1) 種 類

地方自治法第 235 条の 2 の規定による検査

(2) 概 要

① 実施期間

ア 事前調査

令和 8 年 4 月 1 日（水）から令和 8 年 4 月 13 日（月）まで

イ 実 施

令和 8 年 4 月 20 日（月）

② 対象部局

会計管理者及び会計課、都市整備部下水道課

(3) 対象事項及び範囲

① 対象事項

令和 8 年 3 月分

ア 歳計現金現在高報告書

イ 一般会計及び特別会計歳入歳出計算書

ウ 収支日計表（各会計分累計額）

エ 資金前渡精算整理表

オ 下水道事業会計（銀行預金別資金残高表、現預金出納簿、月次合計 残高試算表、資金予算表、予算執行状況表）

② 対象範囲

令和 8 年 3 月分

ア 会計管理者の権限のうち現金の出納

イ 一般会計、各特別会計、各基金

ウ 歳入歳出外現金

エ 下水道事業会計

(4) 手続き

① 実施通知 令和 8 年 4 月 1 日（水）

② 資料提出期限 令和 8 年 4 月 10 日（金）

③ 事前調査 事務局による調査（前記のとおり）

④ 実 施 監査委員による検査（前記のとおり）

⑤ 帳簿の突合

(5) 結 果

① 概 評

令和 8 年 3 月分の一般会計、各特別会計、歳入歳出外現金及び各基金並びに下水道事業会計に係る現金の出納状況について、国立市監査基準に則り、先に提出された資料に基づき、出納簿、預金通帳、その他の諸帳簿を照合した結果は、次のとおりである。

ア 計数の正否

検査の結果、計数上の誤りは認められなかった。

イ 現金出納の状況

令和8年3月分

会 計 名	受入高 (円)	払出高 (円)	残高累計 (円)
一般会計	8,730,740,315	4,774,738,854	2,075,229,528
国民健康保険特別会計	921,146,655	759,260,508	98,900,191
介護保険特別会計	957,454,095	559,874,632	503,638,195
後期高齢者医療特別会計	461,750,300	399,329,634	58,038,105
小 計	11,071,091,365	6,493,203,628	2,735,806,019
繰替運用	△ 1,826,000,000	0	0
繰替使用	△ 490,000,000	0	0
合 計	8,755,091,365	6,493,203,628	2,735,806,019
歳入歳出外現金	1,060,119,592	627,035,859	563,813,196

※歳入歳出外現金の残高累計には、令和6年度からの繰越分が含まれています。

ウ 予算に対する収入済額、収入率及び支出済額、執行率

令和8年3月分

会 計 名	予算現額(円)	収入済額 (円)	収入率 (%)	予算現額(円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
一般会計	41,419,818,831	36,183,264,023	87.36	41,419,818,831	34,108,034,495	82.35
国民健康保険特別会計	7,274,600,000	6,866,984,192	94.40	7,274,600,000	6,768,084,001	93.04
介護保険特別会計	6,939,454,000	6,753,679,591	97.32	6,939,454,000	6,250,041,396	90.07
後期高齢者医療特別会計	2,329,360,000	2,322,029,405	99.69	2,329,360,000	2,263,991,300	97.19
計	57,963,232,831	52,125,957,211	89.93	57,963,232,831	49,390,151,192	85.21

エ 下水道事業会計現金出納状況

令和8年3月分

	受 入 高 (円)	払 出 高 (円)	差引残高 (円)
前 月 末 累 計	3,080,346,805	2,747,175,427	333,171,378
当 月 分	745,901,773	666,083,753	79,818,020
累 計	3,826,248,578	3,413,259,180	412,989,398

② 個別事項

ア 指摘事項 なし

イ 要望事項 なし

2 随時監査

(1) 種 類

地方自治法第 199 条第 1 項及び第 5 項の規定による監査

(2) 概 要

① 実施期間

ア 事前調査

令和 8 年 4 月 1 日（水）から令和 8 年 4 月 13 日（月）まで

イ 実 施

令和 8 年 4 月 20 日（月）

② 対象部局

政策経営部政策経営課

(3) 対象事項及び範囲

① 対象事項

令和 7 年度国立市一般会計（歳出）

元金償還（東京都区市町村振興協会）（3 月 24 日支払分）

予算科目 11.01.01.22(01)

支出額 293,391,171 円

② 対象範囲

ア 財務に関する事務の執行等

イ 一般行政事務の執行及び事務事業の経済性、合理性、正確性等

(4) 手続き

① 実施通知 令和 8 年 4 月 1 日（水）

② 資料提出期限 令和 8 年 4 月 9 日（木）

③ 事前調査 事務局による調査（前記のとおり）

④ 実 施 監査委員による監査（前記のとおり）

国立市監査基準に則り、先に提出された資料に基づき、監査対象部局より対象事項の概要説明を受け、その後、質疑及び関係書類の監査を実施した。

(5) 監査の着眼点

① 共通事項

ア 予算の執行は、計画的かつ効率的に行われているか。

イ 予算の執行の手続きは、適正か。

ウ 決裁は、定められた手続きを経ているか。

② 個別事項

ア 借入の相手方及び選定方法は、適切か。

イ 借入と支払いの計画は、合理的に立てられているか。

ウ 償還金の支払いは、適正な時期に行われているか。

(6) 結 果

① 概 評

対象事項を監査した結果、良好であった。

② 個別事項

ア 指摘事項 なし

イ 要望事項 なし

以 上

令和 8 年 4 月分例月出納検査結果報告書

1 例月出納検査

(1) 種 類

地方自治法第 235 条の 2 の規定による検査

(2) 概 要

① 実施期間

ア 事前調査

令和 8 年 5 月 1 日（金）から令和 8 年 5 月 15 日（金）まで

イ 実 施

令和 8 年 5 月 20 日（水）

② 対象部局

会計管理者及び会計課、都市整備部下水道課

(3) 対象事項及び範囲

① 対象事項

令和 7 年度（令和 8 年 4 月分）

ア 歳計現金現在高報告書

イ 一般会計及び特別会計歳入歳出計算書

ウ 収支日計表（各会計分累計額）

令和 8 年度（令和 8 年 4 月分）

ア 歳計現金現在高報告書

イ 一般会計及び特別会計歳入歳出計算書

ウ 収支日計表（各会計分累計額）

エ 資金前渡精算整理表

オ 下水道事業会計（銀行預金別資金残高表、現預金出納簿、月次合計 残高試算表、資金予算表、予算執行状況表）

② 対象範囲

令和 7 年度（令和 8 年 4 月分）

ア 会計管理者の権限のうち現金の出納

イ 一般会計、各特別会計

令和 8 年度（令和 8 年 4 月分）

ア 会計管理者の権限のうち現金の出納

イ 一般会計、各特別会計、各基金

ウ 歳入歳出外現金

エ 下水道事業会計

(4) 手続き

- ① 実施通知 令和8年5月1日(金)
- ② 資料提出期限 令和8年5月15日(金)
- ③ 事前調査 事務局による調査(前記のとおり)
- ④ 実 施 監査委員による検査(前記のとおり)
- ⑤ 帳簿の突合

(5) 結 果

① 概 評

令和8年4月分の一般会計、各特別会計、歳入歳出外現金及び各基金並びに下水道事業会計に係る現金の出納状況について、国立市監査基準に則り、先に提出された資料に基づき、出納簿、預金通帳、その他の諸帳簿を照合した結果は、次のとおりである。

ア 計数の正否

検査の結果、計数上の誤りは認められなかった。

イ 現金出納の状況

令和8年4月分(令和7年度)

会 計 名	受入高(円)	払出高(円)	残高累計(円)
一般会計	1,455,768,101	2,794,878,023	736,119,606
国民健康保険特別会計	386,833,550	393,976,799	91,756,942
介護保険特別会計	151,331,000	529,413,143	125,556,052
後期高齢者医療特別会計	6,494,300	20,572,434	43,959,971
小 計	2,000,426,951	3,738,840,399	997,392,571
繰替運用	0	0	0
繰替使用	△ 500,000,000	0	△ 500,000,000
合 計	1,500,426,951	3,738,840,399	497,392,571
歳入歳出外現金	0	563,813,196	0

令和8年4月分（令和8年度）

会 計 名	受入高（円）	払出高（円）	残高累計（円）
一般会計	715,305,466	1,673,880,571	△ 958,575,105
国民健康保険特別会計	66,502,860	55,065,644	11,437,216
介護保険特別会計	657,516	35,083,571	△ 34,426,055
後期高齢者医療特別会計	556,600	150,418,958	△ 149,862,358
小 計	783,022,442	1,914,448,744	△ 1,131,426,302
繰替運用	1,500,000,000	0	1,500,000,000
繰替使用	500,000,000	0	500,000,000
合 計	2,783,022,442	1,914,448,744	868,573,698
歳入歳出外現金	471,079,921	567,719,882	467,173,235

※歳入歳出外現金の残高累計には、令和7年度からの繰越分が含まれています。

ウ 予算に対する収入済額、収入率及び支出済額、執行率

令和8年4月分（令和7年度）

会 計 名	予算現額(円)	収入済額（円）	収入率 (%)	予算現額(円)	支出済額（円）	執行率 (%)
一般会計	41,419,818,831	37,639,032,124	90.87	41,419,818,831	36,902,912,518	89.09
国民健康保険 特別会計	7,274,600,000	7,253,817,742	99.71	7,274,600,000	7,162,060,800	98.45
介護保険 特別会計	6,939,454,000	6,905,010,591	99.50	6,939,454,000	6,779,454,539	97.69
後期高齢者医療 特別会計	2,329,360,000	2,328,523,705	99.96	2,329,360,000	2,284,563,734	98.08
計	57,963,232,831	54,126,384,162	93.38	57,963,232,831	53,128,991,591	91.66

令和8年4月分（令和8年度）

会 計 名	予算現額(円)	収入済額（円）	収入率 (%)	予算現額(円)	支出済額（円）	執行率 (%)
一般会計	41,902,425,753	715,305,466	1.71	41,902,425,753	1,673,880,571	3.99
国民健康保険 特別会計	7,235,757,000	66,502,860	0.92	7,235,757,000	55,065,644	0.76
介護保険 特別会計	7,031,189,000	657,516	0.01	7,031,189,000	35,083,571	0.50
後期高齢者医療 特別会計	2,459,379,000	556,600	0.02	2,459,379,000	150,418,958	6.12
計	58,628,750,753	783,022,442	1.34	58,628,750,753	1,914,448,744	3.27

エ 下水道事業会計現金出納状況

令和8年4月分（令和8年度）

	受 入 高（円）	払 出 高（円）	差引残高（円）
期 首 残 高	412,989,398		412,989,398
当 月 分	82,249,319	164,756,938	△ 82,507,619
累 計	495,238,717	164,756,938	330,481,779

② 個別事項

ア 指摘事項 なし

イ 要望事項 なし

以 上

3月・4月・5月新着図書・資料の紹介

○ 新着図書

書 名	著 者	出版社
(マンガ&図解)自治体秘書担当仕事のトリセツ	福島 弘行	学陽書房
どんな仕事も効率アップ!公務員の生成A I 超活用術	八木 征服	学陽書房

○ 資 料

地方議会人	3月号・4月号・5月号	中央文化社
ガバナンス	3月号・4月号・5月号	ぎょうせい
自治実務セミナー	4月号・5月号・6月号	第一法規

くにたち市議会

令和8年 3月

令和8年 4月

令和8年 5月

No.460

発行 国立市議会事務局

TEL 042-576-2111